広報
やすかわ

No.609
2012年（平成24年）
1.1
1975年（昭和50年）4.1創刊

迎春 2012年辰年

村内保育園の年長児が集まって撮影した集合写真です。
子どもたちのように、元気に今年一年過ごせますように。

新　年

あいさつ

―国のゆくえ、村の課題―

関川村長　平田大六

あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、新しい思いで新年をむかえられたこと拝察いたします。

昨、二〇一一年は、国内外できびしい年でした。

そのひとつは、東日本大震災です。直後から、現地救援活動、義援金や物資の寄贈、避難者受入れなど、率先してご協力いただき感謝申しあげます。それにつづく原子力災害は、日本中に色濃くその影響を及ぼしはじめています。関川村におきましても、空間環境、農林産物などの放射線量の数字から、対応にせまられた事例もありました。村にとっては未知の経験でありますので、県や研究会などで積極的に認識を深め、村民生活の安全安心を期してまいります。

もうひとつは、ＴＰＰです。「農」を基幹産業としている関川村として、私は反意を表してきました。しかし、国がその方向に進もうとしている今日、新しい環境下で村の「農」をどうやって維持発展させてゆくかが課題となりました。

村の高齢化は進みます。医療・介護など福祉面での財政負担をおさえるためにも、健康づくりにご協力をお願いいたします。

関川中学校の体育館がまもなく完成します。三学期の後半からは使用できる見通しです。

大震災後、問題点が浮びあがりはじめました。エネルギー国策の見直しも必至です。これは国民の生活の上で、その価値観にまで及ぼすものと思われます。

皆さまにとりまして良い年になりますことを祈念いたします。

謹賀

年頭のご

望む「景気回復」

関川村議会議長　高橋八男

明けましておめでとうございます。村民の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年三月の東日本大震災、七月の豪雨災害による大勢の犠牲者、いまだに避難されている皆様に心からご冥福とお見舞いを申し上げます。二十一世紀の新たなページを刻むこの時に、緑豊かな地球に生き、この瞬間にしか味わえないたぐいまれなる感動を、村民の皆様方とともに迎える喜びは、まさに言葉では言い表せないものがあります。しかしながら、世界の政治、経済は依然先行きの不透明感が払拭できない情勢であり我が国においてもＴＰＰ、円高、ドル安問題で景気回復のための諸施策が講じられているところですが、一刻も早い回復を望みたいところであります。

国の財政も厳しい中、我が村におきましても同様の厳しい財政運営をよぎなくされています。地方自治を取り巻く環境はますます多難でありその舵取りも厳しいものがありますが、村では「豊かで住みよい活気ある村づくり」自立に向けた第五次総合計画に基づき村づくりが着々と進められ、村民生活に密着したさまざまな諸施策も着実に遂行されています。現在、国におきましては経済の再生にむけ、地方自治体も、長引く景気の低迷や、少子高齢社会、介護保険、国民健康保険などさまざまな課題に直面し今まさに、村づくりそのものが大きく変化してきております。

こうした厳しい環境を乗り越え、心の豊かさと日々の暮らしに喜びを実感できる村づくりを進めていくため、村民皆様と協働しながら、皆様の求める効率よい行政を念頭に村執行部と互いの知恵を出し合いながら村民参加の村政運営に努力していく所存であります。

多難な財政状況と、依然として厳しい生活環境ではございますが、村民の皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、この一年が皆様方にとって輝かしいものでありますようご祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

橘　聡さん（湯沢）

2000年（平成12年）生まれ

今年は、目標がたくさんあるけど、その中で最も頑張りたいことを二つあげます。

一つ目は、習字です。今、二段ですが、今年は一生けん命練習し、四段をとれるようにがんばりたいです。二つ目は、苦手な教科を一つこくふくすることです。社会・国語と苦手な教科がたくさんあるので、少しでも得意になりたいです。

今年は、六年生になるので、何かといそがしい年になると思いますが、がんばろうと思います。

伊藤可織さん（久保）

1988年（昭和63年）生まれ

一度、関川村を離れましたが、二度目の年女を関川村で迎えることができ嬉しく思います。家族や友人が近くにいることで安心感があり、とても充実した毎日を過ごせているので帰ってきて良かったなと思っています。

まだまだ家族に甘えてばかりなので、今年は家事の手伝いなども頑張ります。

支えてくれる家族や友人に感謝してこれからも笑顔の絶えない毎日を過ごしていきたいと思います。

石山竜太郎さん（下川口）

1976年（昭和51年）生まれ

早いもので、三回目の年男を迎えることになりました。もう「若者」と呼ばれる歳も過ぎ、中堅に属する歳になっていることに少し戸惑いを感じつつも、多忙の中に充実した日々を送っています。

近年は、少し腰が重くなりがちになってきたので、今年は自己啓発のためにも「挑戦」をテーマに活動的な一年にしていきたいと思います。また、感謝の気持ちを忘れず、笑顔が多い年であるように頑張りたいです。

辰年はわが年

「辰年」生まれの方６人に、今年の抱負をお聞きしました。

斎藤尚子さん（下関）

1964年（昭和39年）生まれ

「光陰矢のごとし」といいますが、最近この言葉を実感しています。結婚して関川村に住み育児や仕事に追われた日々は、長いようであっという間の出来事であったように感じています。昨年は東日本大震災がありました。その被災者の方々のご苦労を考えれば、今ここ関川村に家族共々健康に住むことが出来たことは、当たり前ではなく幸せなことなのだと感じました。今あるものに感謝し、謙虚な気持ちで生きていきたいと思っています。

近　信義さん（宮前）

1952年（昭和27年）生まれ

あっという間に還暦です。頭と体の性能も低下して、元気で仕事のできる七十歳まであと十年になりました。最後の子どもも希望する大学に合格して、社会人になるまで親としてもうひと踏ん張りです。最近、健康のために歩き始めました。女川の景色を見て歩いていると昔と変わらない光兎山、朴坂山、そこを流れる女川、歩いているとなぜか幸せな気持ちになります。これからも大好きな田んぼを見ながら元気に歩き続けたいと思います。

伊藤タツミさん（大島）

1940年（昭和15年）生まれ

若い頃は何も考えず会社に勤め、朝と夕方に農業をしながら必死で働いてきましたが、月日の経つのは早いもので六度目の辰年を迎えました。これまで色々なことがありましたが、皆様に支えられて何とか乗り越えることができました。気持ちは若くありたいと思いながらも身体は先に老いていく寂しさを感じている今日此の頃です。これからは無理をせず、大好きな野菜作りを楽しみながら孫の成長を見守っていきたいと思います。

議会の動き

十二月定例村議会が、十二月十三日から十二月二十一日までの九日間の会期で開かれました。ここでは、その主なものを紹介します。

12月定例村議会

専決処分

■一般会計補正予算(第九号)
＊―歳入歳出それぞれ一千二百八十万円を追加し、総額四十三億五千五百八十万円とする。

■国民健康保険関川診療所特別会計補正予算(第四号)
＊―歳入歳出それぞれ七十万円を追加し、総額一億一千二百八十万円とする。

条例の制定

■関川村暴力団排除条例の制定
＊―この条例は、村からの暴力団の排除について、村と村民などの責務を明らかにして村民の「安全・安心な生活を確保」するためのものです。

条例の改正

■関川村災害対策本部条例の一部を改正する条例
＊―災害対策基本法の改正に伴い引用法令の項目が改正されたため、村条例も改正するものです。

■関川村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
＊―村の消防団の組織を大きく改正し、合わせて団員の定数を削減するものです。
組織改正では、現在の七分団制から三分団制にし、各分団にコミュニティ組織単位の地域隊を設置します。

同意

■固定資産評価審査委員会委員の選任について
＊―平成二十四年一月三日で任期満了を迎える固定資産評価審査委員会の高橋正之委員(大石)について、引き続き委員をお願いするものです。

補正予算

■一般会計(第10号)
補正額　4,630万円を追加
総　額　44億210万円

■国民健康保険事業特別会計(第2号)
補正額　1,000万円を追加
総　額　7億9,800万円

■介護保険事業特別会計(第2号)
補正額　7,000万円を追加
総　額　9億6,780万円

■簡易水道特別会計(第2号)
補正額　240万円を追加
総　額　4,910万円

■水道事業会計(第4号)
収益的収入　340万円を追加
収益的支出　310万円を追加
資本的支出　208万3千円を追加

飲酒運転の根絶と安全運転を呼びかけ
～冬の交通事故防止運動～

12月11日から20日までの10日間「冬の交通事故防止運動」が行なわれました。
16日には、村と交通安全協会関川支部女性部の皆さんが村内の温泉旅館や飲食店を巡回してチラシやポスターを配布し、飲酒運転の根絶を呼びかけました。

紹介します

人権擁護委員に
石山キンさん

一月一日付けで、石山キンさん(下川口・TEL六四―一九四)が人権擁護委員に就任しました。人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する無報酬の非常勤特別職です。任期は三年で、人権を守るための活動を行うほか、住民皆さんからの人権相談にも応じます。
村の人権擁護委員は二人で、山口順子さん(辰田新・TEL六四―一七二七)も活動しています。
※人権相談は人権擁護委員へ。
新潟地方法務局村上支局(TEL五三―二三九〇)でも随時受け付けています。

「学び」と「遊び」が充実　サポーターは地域のボランティア

放課後子ども教室

場所は旧川北小学校

学習

放課後子ども教室では、全学年とも毎回、学習する時間を設けています。

その日、学校で習ったことを復習したり、宿題をしたり、友達同士ひとつのテーブルに集まって仲良く勉強しています。わからないことがあると、サポーターに質問したり、友達と相談したり、各々のやり方で勉強を楽しんでいます。

スポーツ

放課後子ども教室では、体育館やグラウンドを利用して、ドッヂボールやバスケットボールをしたり、空き教室で卓球や廊下で一輪車に乗ったりとグラウンドや校内のあちこちから、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

子どもたちはスポーツを通して、精一杯体を動かすことの楽しさを学んでいます。

放課後子ども教室は、放課後や週末に子どもたちが安全で健やかに過ごすための場所を確保する文部科学省の事業です。

村では、平成二十二年度から川北地区ふれあい自然の家（旧川北小学校）を会場に事業を実施しています。

「放課後子ども教室」はすべての子どものために

村では「いっぱい遊び、いっぱい学ぶ」をテーマに、昨年六月から小学生を対象に放課後子ども教室を実施しています。

ここでは、地域の方たちの協力を得ながら、学習活動や体験活動、交流活動の場を提供しています。

放課後子ども教室を支える「サポーター」は地域のボランティア

放課後子ども教室には、子どもたちの学びや遊びを支援するサポーターがいます。

サポーターとは地域のボランティアの皆さんで、子どもたちと一緒に学び、一緒に遊び、子どもたちの活動を温かく見守っています。

現在、約三十人のサポーターが登録しています。

空き校舎を有効利用

現在、放課後子ども教室は旧川北小学校の空き校舎を利用して実施しています。グラウンドや体育館、裏山などでさまざまな活動を行うほか、校舎内ではサポーターから勉強や遊びを教えてもらいながら楽しく過ごしています。

放課後子ども教室では、普段、学校では体験できないようなことを地域の協力を得ながら体験しています。

内容もいろいろ

放課後子ども教室は週に一度、毎週火曜日の放課後（午後六時まで）に実施しています。勉強やスポーツのほか、川遊びや木登り、裏山での体験学習など自然と触れ合う活動や映画鑑賞、お菓子作りなど、趣向を凝らしたさまざまな活動を行っています。

特集

ボランティア（サポーター）を随時募集しています！

村では、今後さらに放課後子ども教室を充実させるために、サポーターとして協力していただけるボランティアを募集しています。興味のある方、やってみたい方は、ぜひお問い合わせください。

【問い合わせ先】教育課生涯学習班（村民会館内）　TEL　64－2134

自然

放課後子ども教室では、木登りや川遊びなど、自然の中での活動を通して、自然の豊かさや大切さを学んでいます。

ゲームなどの普及により、以前と比べ、外で遊ぶ機会がめっきり減った現代っ子たちですが、自然の中では、ちょっとした工夫でいろいろな遊びを満喫しています。

創作活動

放課後子ども教室では、サポーターが先生となって裏庭の木の枝を使ったおもちゃづくりや牛乳パックを使った箱カメラづくり、パンケーキづくりなど、工作から調理までさまざまな創作活動を行っています。

子どもたちは、物づくりの楽しさをサポーターから学んでいます。

登録児童は百人超！

現在、放課後子ども教室に登録している児童は一年生から六年生まで百人を超えています。

上級生は下級生の面倒をみて、下級生は上級生から勉強を教わったり、遊びを教わったり、全学年での交流が図られているのも放課後子ども教室の特徴です。

呼びやすいようニックネームを活用

子どもと大人、生徒と先生といった線引きをなくし、子どもたちがサポーターの名前を呼びやすいように、サポーターは「マコさん」や「やっちゃん」といったニックネームで呼ばれています。

子どもたちからはもっと回数増やして！の声

週に一度実施している放課後子ども教室。利用している須藤斗夢くん（六年・大島）は「ここでは、学校で出来ないオセロや卓球が出来るから楽しい。できれば週にもう一回増やしてほしい」との声もありました。

サポーターの声

小倉　敏子さん（下関）

ここへ来てから、木登りや魚とりなど子どもたちに教えられることばかり。山があって、川があって、自然の草花があって素晴らしい環境だと思います。

「とっこちゃん、遊ぼ」と近寄ってきてくれるのが嬉しいです。

石山フミ子さん（上関）

ここでは、子どもたちが遊んでいるのを見守っています。孫は関川村にいないので、月に一度、ここで子どもたちと過ごせるのが楽しくて仕方ありません。今日は、それが楽しみで家から歩いてきました。

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.７　後期高齢者医療制度のよくある質問Ｑ＆Ａ

Ｑ１．保険証を紛失したのですが、再交付は受けられますか？

回答：保険証を紛失・破損した場合には、役場住民福祉課住民福祉班で再交付を受けることができます。再交付を受ける際には、印かん・窓口に来られる方の身分証明書（運転免許証など）が必要となります。

Ｑ２．コルセットなどの治療用装具の購入費は、保険の対象になりますか？

回答：治療上必要のあるコルセットなどを作ったときにかかった費用は、申請によって払い戻しが受けられます。

申請の際は、医師の証明書・装具の領収書・本人名義の預金通帳・印かんを持って役場住民福祉課住民福祉班に申請します。後から、かかった費用の９割（現役並み所得者は ７ 割）が払い戻されます。

例　１割負担の方が、20,000円のコルセットを購入した場合

医師の指示により、20,000円のコルセットを全額自己負担で購入

→

必要書類を用意し、市区町村の窓口へ申請

必要書類
●医師の証明書　●装具の領収書
●本人名義の預金通帳　●印かん

→

指定口座に18,000円を入金

購入費用の９割を払い戻し

Ｑ３．先月かかった医療費が高額になったのですが、払い戻しは受けられますか？

回答：１か月（同じ月内）に医療機関に支払った医療費の自己負担額が、定められた限度額を超えた場合には、高額療養費が支給されます。

高額療養費が支給される方には、診療月の約３か月後に広域連合から支給申請案内（初回のみ）が送付されますので、申請書に必要事項を記入し、住民福祉課住民福祉班の窓口に提出すると、申請した金融機関の口座に入金されます。

①広域連合から支給対象となる方に、申請手続きのご案内を郵送いたします。
②申請書を市区町村の窓口へ提出します。
③申請手続きをいただいた後、申請をいただいた金融機関の窓口へ振り込みいたします。

！ ２回目以降の申請手続きは不要です。
（初回に申請をいただいた口座へ振り込みいたします）

後期高齢者医療制度に関する問い合わせ先　住民福祉課住民福祉班　℡ ６４－１４７１

「新潟県おもいやり駐車場制度」平成24年１月15日（日）からスタート

【新潟県おもいやり駐車場制度とは】

健常者がショッピングセンター等の障害者等用駐車スペースに堂々と停めるなどの不適正な駐車に対し、身体障害者等（身体に障がいがある方、高齢者、妊産婦の方等）歩行が困難な方に県が利用証を交付し、利用時にはそれを車内に掲げることにより、適正に利用いただくための制度です。

【駐車可能な駐車場】

ショッピングセンターなどの施設管理者の協力により、出入り口に近い場所に設置され、案内表示看板が立っています。

利 用 証

利用証はルームミラーなどにかけ、外から見えるように掲示します

交付対象者

下記基準に該当する方で、なおかつ歩行が困難または歩行に配慮が必要な方

区分			交付基準
1 身体障害者	視覚障害		身体障害者手帳が４級以上の方
	平衡機能障害		身体障害者手帳が５級以上の方
	肢体不自由	上肢	身体障害者手帳が２級以上の方
		下肢	身体障害者手帳が６級以上の方
		体幹	身体障害者手帳が５級以上の方
		脳原性 上肢機能	身体障害者手帳が２級以上の方
		脳原性 移動機能	身体障害者手帳が６級以上の方
	その他内部機能障害等		身体障害者手帳が４級以上の方
2 知的障害者			療育手帳所持者
3 精神障害者			精神保健福祉手帳の障害の等級が２級以上の方
4 発達障害のある者			歩行に介助者の特別な注意が必要と医療機関等が認めた方
5 難病患者			特定疾患医療受給者
6 高齢者			介護保険の要介護状態区分が要支援１以上の方
7 妊産婦			母子手帳取得者で産後1年半までの方
8 その他けが人又は病気等の者			その他歩行が困難であることが診断書等により確認できる方

申 請 方 法

◆県障害福祉課ホームページからダウンロードできます。
また、下記の申請書配布窓口で申請書様式や専用封筒等を配布します。
（なお、平成 24 年３月 31 日までに申請される場合は専用封筒を使用できますので、郵送料はかかりません）

◆申請書を県福祉保健部障害福祉課へ直接郵送してください。

◆申請書が県に届いてから約２週間で、利用証を自宅に郵送します。

送付・問い合わせ先

〒950-8570　新潟市中央区新光町 4-1
新潟県福祉保健部障害福祉課計画推進係
（福祉まちづくり担当）
電話：025-280-5211
E-mail:ngt040260@pref.niigata.lg.jp

【申請書配布窓口】
関川村住民福祉課
村上地域振興局健康福祉部企画調整課

「被災地からのメッセージ」に涙
NPO法人ホップステップげんき!ままや 十周年記念講演

十一月二十六日、NPO法人ホップステップげんき!ままや（平田ゆかり代表・下関）の十周年記念企画として講演会とコンサートが村民会館大ホールを会場に行われ、村内外から約百人の来場者がありました。

講演会は、仙台市若林区六郷地域包括支援センター長の渡辺美智子さんを講師に招き「被災地からのメッセージ」と題して行われました。

三月十一日の大震災発生後から、地区の避難所で高齢者の安否確認などの活動を行ってきたという渡辺さんは、震災直後、ひとつの避難所にたくさんの人たちが集まりトイレがつまるなどして使えなかったことや、環境が変わったことで認知症の症状のある方の状態が変化したことなどの体験談を話してくれました。

普段、声掛けや見守りなど高齢者がいかに地域の方たちに支えられているのかを気づかされたという渡辺さんは「震災後の活動を通して、命のたくましさを感じました。今、接している人たちは六郷地区に愛着を持っている人たちなので今後もサポートし続けていきたい。それぞれ生きることができる場所を作っていければいい」と今の想いを語ってくれました。

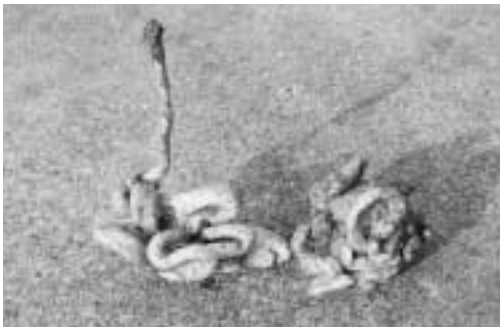
講演会終了後には、弱い立場の人たちの心の声を歌にして全国を駆け巡っている笠木透さんと雑花塾の皆さんによる「ふるさと応援コンサート」が行われ、会場内を優しい歌声で包み込みました。

地震が発生したらあわてず冷静に
～大島集落で講習会～

地震が発生したときの心得を学ぶ講習会が、11月23日、大島集落センターで開催されました。これは大島集落自主防災会が、村上市消防本部の伊藤健一警防係長を講師に招き開催したもの。参加したおよそ50人の皆さんは、あわてず冷静に火災を防ぐこと、落ち着いて身の安全を守ることなど、いざというときの行動を確認し合いました。

講習会では、東日本大震災の様子をスライドで紹介。村上市消防本部の救助活動を通して、不意に襲ってくる地震の怖さを説明しました。また、地震による家の倒壊からは免れたものの、家を飛び出したことで交通事故にあい、命を落としたケースなども紹介。講習会の中で、冷静な行動の大切さを訴えました。

そのほか、自衛隊の救助活動をまとめたＤＶＤも観賞し、甚大な被害状況を再認識しました。



何とも不思議！これは一体･･･

これは、11月下旬に田麦千刈集落の伊藤清一郎さんが自宅近くで収穫した自然薯です。自然薯といえばきれいにスラっと伸びている印象がありますが、これは蛇がとぐろを巻いているように見えます。伊藤さんは「立派ないものつるがあったので掘ってみたらこんな形をしていました。掘った場所は下が硬く、まっすぐ伸びなかったのでは」と話していました。

村民との協働で村をPR

～丸紅グループファミリーフェア～

十一月十九・二十日、東京都千代田区の科学技術館で行われた「丸紅グループファミリーフェア」に村内の有志と村が共同で出展しました。

元々は丸紅グループOBのUターン定住がきっかけとなって始まった交流イベントで、五十回目を迎えた同フェアも今年が最後のイベントとなりました。村はこれまでに九回参加し、関川村産の米やしいたけ、ハム、もち、地酒等を販売しながら、村の観光PRや物産販売に努めてきました。

今回のフェアでは、東日本大震災の復興支援のため、岩手県、宮城県、福島県からも参加があり、近県からの参加ということで村からの参加者も時間を見つけては復興ブースの手伝いを行いました。

最後のフェアということもあり、入場者数も例年より多く、会場に訪れたお客様からは「これからも関川村の物販があったら教えてもらいたい」との声もあるなど、大勢の方たちに「関川村」を知ってもらうことができました。

丸紅サービス株式会社からは「今後も会社と村との継続した関係づくりを行っていきたい」との話があり、村としても継続していきたいと考えています。

この冬もわかぶな高原スキー場へ

▽リフト券が村民価格で購入できます！
さらにリフト料金無料の日もあり！

村内在住の方は、リフト１日券が2,500円になる「村民価格」を設定しています。
（割引前は女性3,000円、男性3,800円）
※ご利用の際、氏名・住所等をお伺いいたします。

▽駐車場が毎日無料！

レストランのみのご利用や、小さなお子様の雪遊びにもご利用ください。

▽「スキー子供の日」（毎月第3日曜日、3月の全日曜日）と「下越エリアスキー・スノボ感謝の日」（1月22日、2月26日）は小学生のリフト料金が無料！

レンタルスキーは最新モデルをさらに増量しました。大人用のレンタルウェアもリニューアル、またジュニアブーツはサイズ展開を25.5㎝まで拡大しました。

今シーズンもジュニアセット（１日）ご利用のお子様にはヘルメットの無料レンタルをいたします。

問い合わせ先　わかぶな高原スキー場
TEL 64－0330
http://www.wakabuna.com

週末はイベントが目白押し！

１月、２月の毎週日曜日はレストハウスがFMサテライトスタジオに！「WAKABUNA×FM Kento サニーサイドステーション」ゲレンデ生放送！

1/22(日) 2/19(日)	わくわくウィンターカーニバル ※関川村民の方はリフト料金が無料！
1/28(土)	ジャイアントスラローム大会
1/29(日)	下越スキー技術選手権
2/25(土) 2/26(日)	レルヒさん無料スキースクール

ご利用料金

◆１日券：大人 2,500円（村民価格適用）
子供 2,500円（小学生）
※小学生未満は無料

◆スキーレンタル：大人 3,000円（１日）
子供 2,000円
（小学生以下/１日）

◆レンタルウェア：2,000円

＊その他詳細はホームページをご覧ください。

健康せきかわ21
いきいきライフ

関川小学校四年生を対象に「つきさらキッズ・キッチン」を開催しました

「食」への関心を高めてもらおうと、昨年度から村上地域振興局健康福祉部の主催で実施している「つきさらキッズ・キッチン」が、二回にわたって関川小学校の四年生児童を対象に実施されました。

関川小学校では「収穫から食べるまでの一連の過程を楽しく親子で体験し、健全な食習慣の形成の必要性を理解する」をテーマに、十月二十八日と十一月八日に実施しました。

第一回の授業では、村の特産品である「あらかわ生しいたけ」について、関川村森林組合の職員から、栽培から出荷までについての説明を受けた後、一連の工程を見学し、収穫体験を行いました。

学校へ戻ってからは、しいたけクイズをしたり、学校栄養主査の太田先生から「地産・地消」についての話を聞いたりして、村の食材の安全・安心や新鮮さについて学びました。

第二回の授業では、保護者の方にも参加いただき、前回収穫体験をしたあらかわ生しいたけを使ったしいたけサラダの調理実習を行いました。

調理実習には村の食生活改善推進員のみなさんにも協力していただきました。

調理実習の前には、村の管理栄養士から村の子ども達のおやつの取り方における問題点や、朝ごはんの欠食を無くするための取り組みについての説明がなされ、調理後は、村食生活改善推進員から郷土料理やしいたけ料理の紹介がありました。

当日は、「しいたけサラダ」の他にも、噛みごたえのある「大豆や胡麻、塩昆布入りの炊き込みご飯」や村の特産品であるにいがた地鶏を使った「にいがた地鶏のケチャップソテー」、豆腐を使ったデザートを試食し、バランスのよい食事についても学びました。

子どもたちは、収穫体験がとても楽しかったようで、あらかわ生しいたけがおいしかった、家でもお手伝いがしたい等の感想がよせられました。

村では早寝・早起き・朝ごはんの推進、肥満や虫歯の減少、おやつやジュースの過食の減少等について取り組んでいます。健康な体を作るためには子どもの頃からの健全な食習慣の形成が大切です。家庭・学校・地域が連携して村の大切な子どもたちの将来のために取り組んでいきましょう。

自治功労表彰（高齢者表彰）おめでとうございます

このたび、村のほう賞条例に基づき、自治功労表彰がおこなわれました。お二人には表彰状と記念品料が贈られました。

高橋サキさん（蛇喰）

明治44年10月25日生まれ

平成23年10月25日で、満100歳の誕生日を迎えられました。

以前、取材でお邪魔したときは「何があってもくよくよせず、前を向いて頑張ることが元気の秘訣」と教えてくれました。

表彰おめでとうございました。

米野佐一さん（小見）

明治44年10月6日生まれ

平成23年10月6日で、満100歳の誕生日を迎えられました。

元気の秘訣は「ご飯をちゃんと食べること」と教えてくれた米野さんは、大好きな盆栽の話を楽しそうに聞かせてくれました。

表彰おめでとうございました。

健康講座 84

心筋梗塞の話

県立坂町病院 院長 鈴木 薫

寒い時期となり、心臓病の患者さんが増える季節となりました。今回は対応が遅れると生命に関わる危険のある心筋梗塞についてお話します。

心筋梗塞と言う言葉をお聞きになった事はあると思います。心筋梗塞とは心臓の筋肉へ栄養を送る血管が詰り、心臓の筋肉が死んでしまう病気です。頭の血管が詰り脳細胞が死んでしまう病気が脳梗塞で、太い血管が詰るほど死んでしまう脳細胞が多くなり麻痺等が重くなります。心筋梗塞も太い血管が詰る程心臓の筋肉が多く死に、重篤な症状が出ます。

症状としては「胸の締め付けられる様な痛み」が代表的で脂汗を伴う事が多いです。一般的に「死ぬのでは？と感じる痛み」と言われています。また、心臓の筋肉は死に始めるのに約1時間かかり、その後時間の経過とともに広い範囲の心臓の筋肉が死んでいきます。ですから症状が出てから早く心臓の血の流れを戻してやれば、心筋梗塞にならずに済んだり、軽い心筋梗塞で済みます。

「脂汗を伴う胸部不快感」の場合は我慢せず救急車を呼び、一刻も早く病院を受診して下さい。我慢は禁物です。また、突然心臓が止まる事がありますので、意識が無くなったり、呼吸が止まったりした場合は心臓マッサージを行って下さい。（救急隊の指示に従って下さい）

心筋梗塞は突然なる人が多いですが、危険信号がある人もいます。急に運動時に胸痛が出てきたり、安静時に三十分以内に治まる胸痛（脂汗を伴うもの）が出たら要注意です。特に運動時と安静時に胸痛が出て、ダンダン治まり難くなった場合はなるべく早く病院を受診して下さい。

心筋梗塞になりやすい人はいるのでしょうか？一般的に血圧の高い人、コレステロールの高い人（特にLDLコレステロール）や糖尿病の人は正常の人の何倍も心筋梗塞になりやすいと言われています。但し、こういう人たちもキチンと治療を受けると心筋梗塞になる危険性を下げる事が出来ます。健康診断等で心筋梗塞になりやすい危険性の早期発見、早期治療を行って下さい。

＊このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。
☎六二―三一一一

サンタクロースに夢をふくらませる子どもたち

Peekaboo クリスマスパーティー

十二月十八日、Ｐｅｅｋａｂｏｏ主催の「クリスマスパーティー」が女川ふるさと会館を会場に行われ、約五十人の親子が参加しました。

子どもたちが作ったキャンドル入れに火が灯されて始まったクリスマスパーティー。ゆらゆらと幻想的なキャンドルを囲む子どもたちの前に現れたのは大きな袋を持ったサンタクロース。サンタクロースの登場に泣き出す子もいましたが、一人ひとりにプレゼントが渡されると、嬉しそうな表情でプレゼントを抱えました。

また、サプライズとして父母による即興劇「大きなかぶ」が披露されました。これは参加した父母にも内緒にしていたもの。突然のことに少し戸惑った様子の父母の皆さんもかわいい子どもたちのために恥じらいを捨て、一生懸命役を演じました。着ぐるみ姿のお父さん、お母さんの姿に子どもたちも大喜び。楽しい思い出が出来たクリスマスパーティーとなりました。

生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
TEL 64－2134

図書室の窓から

村民会館図書室

明けましておめでとうございます。今年も村民会館図書室がたくさんの方に利用していただけるよう頑張ります。図書室に新しい本がたくさん入りました。家の中で過ごすことが多くなる季節です、是非お気に入りの一冊と出会ってください。

この本よんで!!

「あけましておめでとう」
中川ひろたか文　村上康成絵　Eム

お正月ってみんなこんな感じ？昔から伝わるお正月の伝統とは？おとそは若い人が先に飲むとか、おせち料理のお豆はまめになるとか、かるた・ふくわらい・たこあげ・・。

今月の１冊

「謎解きはディナーのあとで２」
東川篤哉著　913ヒ2

「お嬢様の目は節穴でございますか」主人公の令嬢刑事・麗子に代わって鮮やかに事件を解決する執事・景山。ドラマ化で益々注目を浴びる人気作の第２弾登場です。

今月の図書館バス

にじ色と、“汽車”のメロディーが目印です。
高田～沢～女川 方面……15(日)
大島～片貝～大石 方面…… 7(土)29(日)

21日(土)は おはなしのかい みんなできてね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使っての演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎！無料です！

参加してくれたこどもたちにはかわいいシールをプレゼント！

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は、午後１時～５時30分まで、土･日は、午前９時～午後５時まで開館しています。

あなたに直撃 ⑮⑤

小野周平さん
（関川中学校3年・下関）

12月８日に行われた「関川中学校生徒会選挙」で、生徒会長に当選した小野周平さんに話を聞きました。

―生徒会長に立候補したそうですが、きっかけは？
初めて生徒会の仕事をしたとき、書記局の仕事の大変さに驚きました。それと同時に、やりがいがあり人の役に立つ大切な仕事だと実感しました。昨年１年間の書記局の経験を生かして、今の関川中学校をよりよくしたいと思い、立候補しました。

―生徒会長としてのこれからの目標は？
生徒会書記局としっかり協力して、選挙の時の公約１つ１つを実現し、楽しく学校生活を送ることのできる学校をつくっていくことです。そのためにまず自分が１つ１つの仕事を丁寧に実行していきたいと思います。

―今、夢中になっているものはありますか？
部活動です。野球部の目標である県大会出場に向けて、冬場の練習を頑張っています。そしてこれからも大変なときは仲間と励まし合って頑張っていきます。来年の県大会に出場できるように頑張ります。

―それでは将来の夢は？
まだはっきりとは決まっていませんが、できるなら人のためになる仕事をしたいと思います。これから、相手の気持ちになって行動するように心がけ、優しい心を持った人になりたいと思っています。そしてそれを全校に広めていきたいです。

▶講師を務めた新潟いのちの電話事務局長の渋谷さん

大切な命を守るためにできること･･･それは「話を聴くこと」

12月15日、村内民生児童委員や健康づくり推進員等を対象に「自殺予防メンタルヘルスサポーター養成研修会」（主催：村上地域振興局健康福祉部・村）が村民会館を会場に行われ、約30人が参加しました。

地域における自殺予防の気づきと見守りの中心的役割を担う人材育成が目的で、研修会では新潟いのちの電話事務局長の渋谷志保子さんと県精神保健福祉センターの櫛谷晶子さんを講師に招き、悩みを打ち明けられたときの聴き方や話を聴くことの大切さについて講義を受けたほか、相談者と聴き手役になっての体験学習やグループワークが行われました。

参加者からは「人の気持ちを分かるというのは大変なことだけど、こういうやり方があるということを教わりました」「相手を責めず、寄り添って話を聴いてあげることが大切だと感じました」など、さまざまな感想が聞かれました。

大会結果
＊敬称略

第7回 クラブカップ 卓球大会

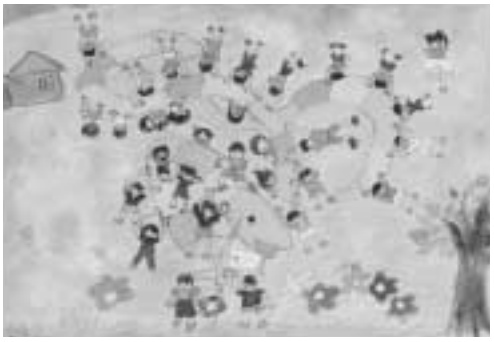
■期日　12月11日
■会場　村民会館
■成績
―団体戦の部―
▽第３位　関川スポ少Ａチーム
―個人戦の部―
▼小学生男子
▽第３位　市井　翔大（６年・山本）
▽同　高橋　由伸（５年・上土沢）
▼小学生女子
▽第１位　佐藤　希美（５年・大島）
▽第２位　高橋凛香子（５年・蛇喰）
▽第３位　市井すみ香（４年・山本）
▼中学生男子
▽第２位　伊藤　佑斗（２年・下関）
▽第３位　佐藤　優太（２年・大島）
▽同　近　陽貴（１年・大島）
▼一般男子Ａ
▽第２位　内山　誠（大島）
▼一般男子Ｂ
▽第１位　鈴木　利彦（蛇喰）
▽第２位　今　和明（高田）
▽第３位　佐藤　邦雄（朴坂）
▼一般女子Ａ
▽第３位　伊藤　直美（田麦千刈）
▽同　伊藤　早苗（田麦千刈）
▼一般女子Ｂ
▽第１位　高橋香代子（蛇喰）
▽第２位　丹後　直子（胎内市）
▽第３位　近　知子（大島）
▽同　佐藤美和子（下関）

第42回 県ジュニア美術展覧会　入選作品

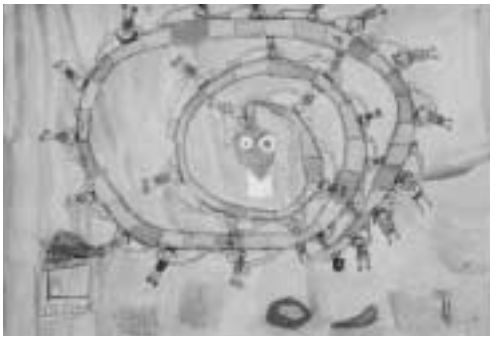
村内小・中学校から12作品が奨励賞に選ばれました。＊敬称略

◆主　催　新潟日報社、県教育委員会など
◆応募数　県内の保育・幼稚園、小・中学校などから絵画と版画計36,679点
◆入選数　2,060点（特賞30点、優秀賞190点、奨励賞1,840点）

山崎彩水（関川小1年・下関）



中山景介（関川小2年・下関）



大島瑚白（関川小2年・上野新）

沢田涼輔（関川小3年・大島）

本間碧（関川小3年・安角）

須藤稜央（関川小3年・大島）

野沢輝星（関川小4年・勝蔵）

佐藤竜太（関川小5年・安角）

学校からのお知らせ

今月は関川中学校からの紹介

子どもたちの社会性を育てる
『いじめに立ち向かおうプロジェクト』

都市化や少子化の進展、テレビゲームやパソコンなどの普及により、大勢で遊ぶ、友人と語り合う、他人と協力し合うといった多様な人間関係の中で、社会性や対人関係能力を身につける機会が減っていると言われています。学校では、生徒会活動や部活動等、異学年間で交流する体験の中で、規範意識や社会性を育成する様々な取り組みを行っています。

◀いじめ解決策のロールプレイ（役割演技）

▶小中学生によるディスカッション

いじめに立ち向かおうプロジェクト集会

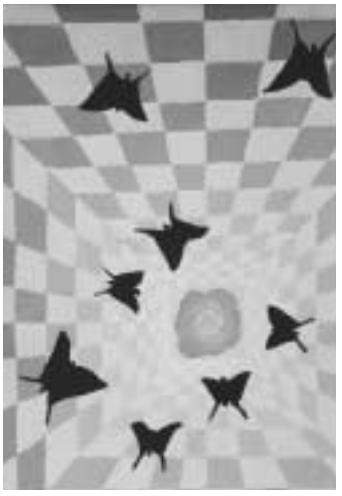
関川小学校６年生と関川中学校生徒との交流による取り組みです。

【日時】　１月27日(金）13：30～15：15
【場所】　関川中学校多目的教室(全体会)
　　〃　　各教室(分科会)
【内容】
① いじめをテーマにした、中学生による自主制作映画を上映します
② 中学１～３年生がクラスごとに『いじめ』の解決策を発表します
③ 小中学生が一緒に、小グループに分かれて『いじめ』について語り合います。

地域のみなさまにも大勢ご参加いただいて、小中学生の考えや生の声をお聴きください！

長谷川　康太（関川小5年・下関）

照井　湧太朗（関川小6年・深沢）



近　日菜子（関川中1年・大島）

本田　知紗子（関川中2年・辰田新）

このコーナーに登場していただける方を募集しています。自薦他薦は問いません。

じっくり心をこめて

スローフード 94

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

人参としらすの炊き込みご飯&具だくさんのかぼちゃ汁

人参としらすの炊き込みご飯は、人参嫌いな子も、おいしく食べられます。具だくさんのかぼちゃ汁は、なすの代わりにワカメや薄揚げ等を入れてもおいしいです。

【人参としらすの炊き込みご飯】

材 料（４人分）

・米　２合　・すりおろし人参　70g　・しらす干し　10g
・酒　小さじ２　・昆布茶　小さじ１　・塩　小さじ1/2
・大葉、白ごま　適宜

作り方

① 米は洗った後、水に浸しておく。釜に入れ、目盛りよりやや少なめに水を入れる。
② ①に酒、昆布茶を加えて軽く混ぜ、すりおろした人参としらすを加えて炊く。炊き上がったら全体を混ぜ、蒸らす。
③ 好みで、ゴマと千切りにした大葉をかける。

【具だくさんのかぼちゃ汁】

材 料（４人分）

・かぼちゃ　150g　・玉ねぎ　1/4個　・なす　１個
・さやいんげん　７本　・サラダ油　小２
・だし汁　600cc　・みそ　大２

作り方

① かぼちゃはわたを取り、５㎝程のいちょう切り、玉ねぎは薄切りにする。
② なすは１㎝程のいちょう切りにし、水にはなしてアクを抜く。さやいんげんは茹でて３等分に切る。
③ 鍋にサラダ油を入れて、かぼちゃ、玉ねぎ、なすの順に加えて炒める。
④ だし汁を加え、アクを取りながら野菜がやわらかくなるまで煮る。
⑤ さやいんげんと味噌を加えて火を止める。

せきかわ文芸

俳句・川柳

俳句

きり晴れて 見上げる山の 峰は雪
初雪や 親がすてれば 子がもどす
大塚　沖正（中束）

川柳

このところ「せきかわ文芸」にぎやかに
高令や 薬集めて 医者通い
松田　榮一（下関）

短歌

すべもなく老いゆく互いを憂れいしも
癒すくれしか山茶花の花
須貝　恵美（高田）

千年に一度の地震津波とか
暮らしに困る顔顔顔と
佐藤　庄七（愛広苑）

冬の陽が飯豊光兎掛軸を
なぞりておりぬ山は冠雪
小池　啓子（下関）

あめつちに安らけくあれとあらたまの
年の初めに祈りをささぐ
渡辺千恵子（上関）

関川俳句の会作品

ゆく秋や心に風のしみじみと
桜並木も早裸木となりにけり
電線に烏つらなるそぞろ寒
渡辺しづい
渡辺しづい
渡辺しづい

国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

■最近の活動

十二月十八日、二〇一二年度学生代表・役員選出選挙が行われました。

この選挙は、来期からＩＶＵＳＡの中心となって会を支えていく学生代表や役員を選出するためのものです。

選挙は、各立候補者が公約と意気込みを提示し、会員を前に演説を行い、そのうえで、会員が信任できると思った立候補者に投票するシステムとなっています。今回も、すべての大学を含めると、約六十人以上の役員が選出されました。

また、役員選出と同時に行われた学生代表選出選挙では、日本大学法学部三年の益子将太郎が来期学生代表に選出されました。

当選後は、所信表明演説が行われ、来期からの新代表としての意気込みを熱く語りました。

今年は、ＩＶＵＳＡが創立されてから二十年という節目の年を迎えます。

新代表と新役員が決まった来期。新たな時代を迎えるために、残り少ない今期もＩＶＵＳＡは社会への冒険を続けていきます。

IVUSA学生の声

山口 まりな
（法政大学３年）

Q 関川村での活動に参加したきっかけは？

A リピーターが多くて関川大好きな先輩が沢山いるので、それだけ関川にハマる理由や魅力が関川にはあると思い、私も行って感じたいと思ったからです♪また、関川村を訪れて村の方々と沢山交流したかったからです！

Q 参加前と参加後で変わった事は？

A 思った以上に関川村は栄えていてお店もあるし若い人や子どももたくさんいて元気でした！(笑)村の方々は期待していたよりもフレンドリーで、すぐに仲良くなれたので、緊張なんてしなくていいんだなぁと思いました★

Q 今後関川村とどう関わっていきたい？

A 先輩方が今まで築いてきた関川村とＩＶＵＳＡの絆をより強くしたいです。そのためにもっと関川に帰り、村民のみなさんと一緒に関川村について考えたいと思います♪またプライベートで関川帰ります！

◀来期学生代表に選出された益子将太郎（日大３年）

せきかわ文芸

せきかわ川柳会作品「知恵」「絶好」

胎内の奥へ奥へと紅葉狩り　渋谷　くに
天高しパノラマタワーで一周し…　渋谷　くに
小松茸そのまゝ入るどびん蒸し　渋谷　くに
軒下の秋の風物柿すだれ　伊藤　久恵
山装う里雪近し風便り　伊藤　久恵
通学路歩く児もなく枯芒　伊藤　久恵
一枚の暦雑念払うかに　南　セツ
三年日記買うには少しためらいき　南　セツ
木枯しに災受けし人偲ぶ日々　南　セツ
忘年会どうもの声で集いけり　青木　慶一
菊に菊活けたしてあり佛前に　青木　慶一
初暦めくり良き年祈りけり　青木　慶一

人類の知恵が末期を暗示する　渡辺しづい
おみくじの金運恋愛絶好調　渡辺しづい
他の客なくて絶好ママと俺　渡辺しづい
絶好の夕陽あしたをふくらませ　平田　千恵
八起き目の家族が知恵を出し合って　平田　千恵
災害地知恵出し合って和を広め　平田　千恵
健康で金婚祝い共白髪　本間　イミ
アルバムに思い出多く残してる　本間　イミ
受験生希望を胸に知恵しぼる　本間　イミ
八十年伊達にや生きぬと祖父の知恵　南　セツ
台所届かぬスイッチ箸で押す　南　セツ
ハナ唄でリズム取ってる台所　南　セツ

広報 せきかわ
No. 609／1月号
平成24年1月1日発行

戸籍の窓

●11月16日～12月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

稚奈（わかな）ちゃん（女）　南赤谷
　新野　勝・紗由里さん
莉央菜（りおな）ちゃん（女）　高田
　渡邉　栄稔・和代さん
聖斗（まさと）ちゃん（男）　上関
　渡邉　健・智美さん
亜央依（あおい）ちゃん（女）　下関
　山本　繁・知春さん

すえながくお幸せに

伊藤航平さん　上関
（小田）実穂さん　（村上市）

ごめい福をお祈りいたします

高橋　松男	さん	72歳	上関
富樫　サヨ	さん	85歳	下関
須貝　トキ	さん	88歳	高田
渡邉マサノ	さん	97歳	高田
照井　廣	さん	87歳	深沢
内山　俊一	さん	63歳	大島
山本　ツネ	さん	89歳	宮前
八幡　孝	さん	77歳	片貝
須貝　和義	さん	54歳	高田
小池　初井	さん	97歳	下関
須貝　幸子	さん	72歳	高田
須貝　サチ	さん	81歳	高田

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

平成23年11月末現在　（　）は前月対比

世帯数	2,031世帯（－1）
総人口	6,568 人（－14）
男	3,136 人（－3）
女	3,432 人（－11）

転入	5人	転出	13人
出生	5人	死亡	11人

編集室から

▶明けましておめでとうございます。
　2012年、さまざまな想いを胸に新しい年を迎えられていることと思います。
　昨年は東日本大震災、福島第一原発事故、豪雨災害など大きな自然災害や大事故に見舞われた一年でした。それでも日本国民、そして世界中からの「愛」と「力」によって、一歩ずつ、少しずつではありますが復興の道を歩んでいます。
　2012年は、皆様にとって「希望」と「光」に満ち溢れた一年となりますように・・・　（あ）

キラリ輝く☆せきかわっ子たち vol.2

今月は、関川中卓球部でキャプテンを努めている佐藤優太さん（２年・大島）を紹介します！

小学４年生から卓球を始めた優太さん。近所の先輩が卓球をしていて、誘われたことがきっかけで卓球を始めました。同級生や後輩から慕われている頼れるキャプテンです。

チームメートから見た優太さんは？
・優しくて、責任感が強く、頼りがいがある
・頭が良い（普通よりちょっと上！）

大滝寛顧問から見た優太さんは？
「誠実」という言葉がピッタリです。自分ができることは、正面から向かっていくという気持ちを持っていて、何事にも一生懸命取り組む子です。

10年後の自分は？
歌が好きなので、歌をうたっていたいなと思います。

下越大会出場という目標に向かって練習に励んでいます！

わが家の人気者

拓実（たくみ）ちゃん（６歳）
芹奈（せりな）ちゃん（３歳）
渡邉利彦さん　文子さん（上関）

春には１年生になる拓実とまだまだわがまま一杯の芹奈ですが、その妹と遊んでくれるのもお兄ちゃんです。
天気のいい日は外で遊ぶのが大好きで、お父さんと虫を探したりしています。
２人ともこれからも元気に育っていってくれればと思っています。

発行／関川村
編集／総務課

〒959-3292　新潟県岩船郡関川村大字下関912番地
Tel　0254-64-1476　Fax　0254-64-0079
ホームページ　http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/
メール　somu@vill.sekikawa.niigata.jp